

# あなたと はくぶつかん

VOL.44 NO.2

2016. 5. 1 平塚市博物館

※今月号は特別にタイトルのデザインを変更し、開館当時の博物館広報紙を再現しました。

**開館  
40周年**

この号が発行される5月1日、おかげをもちまして当館は開館から40年を迎えます。1976年以来、入館された方は290万人に上りました。日ごろからご利用くださる皆様に加え、過去にご利用をいただいたすべての方々に、この場を借り心から御礼申し上げます。

平塚市博物館は、地域の博物館として独自の道を歩んできました。昨今「自分らしさ」という言葉が用いられるように、地域には「地域らしさ」が求められています。そのアイデンティティを、「らしさ」を事実として保証し、知らせて行くことが地域博物館の使命といえます。この40年、地域を大切に想う市民の皆様とともに資料と情報の蓄積を重ねてまいりました。その豊饒は、必ずや地域の明日の糧となるにちがいありません。皆様のご支援に改めて感謝申し上げる次第です。

とはいえ、博物館という施設は、100年を経てこそ、その活動が真に評価されるべきでしょう。引き続き地域をつぶさに物語る資料の収集を重ね、成果を多くの方にお知らせしながら、60年後、その時の館長から今日の皆様に対し、今日以上の感謝を述べさせていただきますよう、どうぞこれからも変わらぬご声援をお願い申し上げます。

平塚市博物館 館長 澤村泰彦



↑1976年開館当時(左)と現在(右)の平塚市博物館の様子。噴水ができたり木が大きくなっていたりと、文化公園内はずいぶん様変わりしましたが、建屋の外観は開館当初の面影をそのまま残しています。



↑開館に向け、古民家(現在1階に展示されている相模の家)の屋根に茅を葺く作業中(1976年3月)。



↑開館して最初に発行した広報紙「はくぶつかん」の第1号。

## 予告

開館40周年記念 夏期特別展  
「レンズが見たひらつか 2  
平塚と博物館の40年 1976-2016」

今年の夏期特別展では、博物館が開館した1976年から現在までの平塚の町並みと人々の暮らしぶりの変遷や地域の歴史的出来事など、平塚が歩んできた40年間の足跡を、主に写真資料でたどります。懐かしいあの時代に思いを馳せて・・・  
どうぞご期待下さい。

40<sup>th</sup> Anniversary of Hiratsuka City Museum

## 寄贈品コーナー 新着資料展 2016 - 歴史・天文・地質 -

5月12日(木)～6月5日(日) 1階 寄贈品コーナー

博物館には毎年のように新しい資料が収蔵されます。その多くが市民の皆さんよりご寄贈いただいた資料です。2015年度に新たに博物館に加わった資料を、歴史・天文・地質の各分野それぞれが紹介します。

<展示予定資料>

**地質:**北海道産アンモナイト化石・イノセラムス化石(未包鉄朗氏寄贈)、大磯産タマキガイ類化石(佐藤諒弥氏寄贈)、愛川町産へそ石(濱松喜八郎氏寄贈) ほか

**天文:**太陽黒点観測スケッチ、天文現象画像(博物館及び天体観察会会員撮影) ほか

**歴史:**昭和8年平塚市平塚第三尋常小学校手帳・昭和14年平塚第三尋常小学校卒業記念写真帖(伊東宏氏寄贈)、昭和8年平塚市勢要覧・昭和3年平塚尋常高等小学校第三十六回尋常科卒業生記念写真帖(久保寺芙沙子氏蔵) ほか



未包鉄朗氏より多数ご寄贈頂いた北海道産アンモナイト化石の中には、直径1mを越える大物も。



濱松喜八郎氏よりご寄贈頂いたへそ石は、相模川流域で最も古い地質帯から産出する貴重な化石ですが…さていったい何の化石でしょうか？

# 相模川流域ジオツアー入門

相模川は日本でも数少ないプレート境界にできた河川で、伊豆弧(丹沢地塊)が衝突した際に生じた世界的にも重要な場所です。私たちが暮らす相模川流域の大地(ジオ)には、世界に誇れる地球遺産が数多く残されています。今年から始まる「相模川流域ジオツアー入門」は、そんな大地の声を聞けるようになりたい、という皆さんと共に野外を歩きながら、相模川流域の地形や地層、そこに根付いた人々の文化や歴史について、直接その目で観察することで学ぼうという企画です。第1回目は平塚市田村～四之宮を歩き平野の地形・地質やそれに関連する文化遺産について学びます。普段何気なく通り過ぎている場所にひっそりと残る地球遺産を、あなたも見つけてみませんか？



↑神川橋からみた相模川左岸。相模川がつくった自然堤防の上に家々が並ぶ。

## 第1回 「平野の地球遺産」

行き先 : 平塚市田村～四之宮  
実施日 : 5月28日(土) 9時～17時  
参加申込 : 往復はがきに行事名・住所・氏名・電話番号を記入してお申込みください。  
締切 : 5月18日(水) (当日消印有効)  
定員 : 20名(応募多数の場合抽選)  
備考 : 雨天時中止



# 今年もやります！ 親子ほしぞらタイム

一昨年度からはじまった「親子ほしぞらタイム」を今年度も実施します。小学生以下のお子さんをお連れのお母さんお父さんは、5月14日(土)から7月9日(土)まで(6月11日をのぞく)毎週土曜日午前11時の回のプラネタリウム幼児向け投影の観覧料が無料となります！ 幼児投影はお話ししたり泣いてしまったりしても大丈夫☆小さなお子さんのプラネタリウム・デビューにもピッタリです。これを機会に、お子さんとプラネタリウムを見に来てみませんか？



今年度の幼児向け投影は…

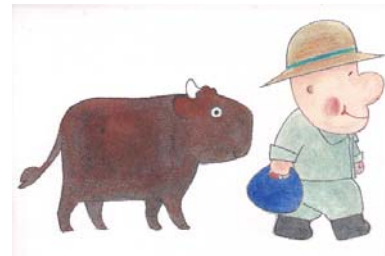
## ほしみる おじさん -みちかなうちゅうのおはなし-

はてしなく広がる宇宙のなかのわたしたちの地球。おじさんとウシくんののどかな一日を通して、太陽や星の動き、月の満ち欠け、宇宙のしくみを、はじめてのお子さんにもわかりやすくお伝えします。



もりなお作・絵の同名の絵本を原作として作られたプラネタリウム番組。この絵本は、三鷹市星と森と絵本の家2014年絵本原画公募展優秀作品に選ばれ、ぶんしん出版より出版されています。

声の出演：小平有希、高口公介 / 原作監修：縣秀彦(国立天文台教授)  
制作：Astrolab



<投影情報>

日 時：5月14日(土)～7月9日(土)までの毎週土曜日 午前11時～

8月～3月の第2・第4土曜日 午前11時～

観覧料：200円(18歳未満65歳以上無料)

※5月14日～7月9日は「親子ほしぞらタイム」を実施(上記参照)

予告

今年も 平塚学講座 を開講します

地域に住む人々が地域づくりの主役になるためには地域のことに関心を持ち、知らなければなりません。平塚学講座は、平塚に住む人々が平塚を知り、自ら考えるための基礎を作る講座です。特定の分野だけでなく生物・地質・天文・歴史・考古・民俗の各分野の総合的な視点で地域を見つめ、考えていきましょう。今年度は半年間かけてじっくりと学ぶスケジュールになっています。また2017年1月に開催される博物館文化祭にも、展示参加を予定しています。募集開始は6月を予定しています。その他詳しい案内は来月号をお待ちください。

月日	内容
7月 9日(土)	ガイダンス / 開講講座
7月 23日(土)	「暮らしの中の伝承文化-人と自然と神仏と-」
8月 6日(土)	「セミの抜け殻調査から」
8月 20日(土)	「平塚の大地と相模川の成り立ち」
9月 3日(土)	「平塚地域の歴史的特質 —近世以降を中心に—」
9月 17日(土)	「資料が語る古代の相模と平塚」
10月 1日(土)	「平塚で見る星空 / 知られざる平塚の宇宙開発」
10月 15日(土)	野外実習
10月 29日(土)	学習のまとめ
11月 12日(土)	学習発表会 / 修了式

1	日	○体験学習「ヤコブの杖を使って火星の動きを測ろう」	科学教室	☆	特別展「ひらつかの家康伝説」
2	月				
3	火				
4	水				
5	木	展示解説ボランティアの会	講堂		寄贈品コーナー「新着資料展」
6	金	聞き書きの会	特別研究室		
7	土	◎子どもフェスタ	全館	☆	
8	日	天体観察会 流星分科会	科学教室	☆	
9	月	休館日			
10	火				
11	水				
12	木	平塚石仏の会	野外/雨天時:講堂		情報コーナー「新着資料展」
		古代生活実驗室	科学教室		
		古文書講読会	講堂		
13	金	お囃子研究会	講堂		寄贈品コーナー「新着資料展」
		星まつりを調べる会	特別研究室	☆	
		相模川の生い立ちを探る会	科学教室	☆	
14	土	◎星空と音楽の夕べ	プラネタリウム		情報コーナー「新着資料展」
		天体観察会 天文学勉強会	講堂	☆	
		天体観察会 定例会	講堂	☆	
15	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室		寄贈品コーナー「新着資料展」
		◎ろばたばなし	相模の家・特別研究室		
		休館日			
16	月	休館日			
17	火	平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		寄贈品コーナー「新着資料展」
		裏打ちの会	科学教室		
		民俗探訪会	野外/雨天時:講堂		
18	水	展示解説ボランティアの会	講堂		情報コーナー「新着資料展」
		◎天文学入門講座「太陽系と惑星」	講堂	☆	
		東国史跡踏査団	講堂・野外	☆	
19	木	地域史研究ゼミ	特別研究室		寄贈品コーナー「新着資料展」
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
		天体観察会 流星分科会	科学教室	☆	
20	金	休館日			情報コーナー「新着資料展」
21	土	◎星を見る会	科学教室・屋上		寄贈品コーナー「新着資料展」
		古文書講読会	講堂		
		◎相模川流域ジオツアー入門 第1回	野外:田村	☆	
22	日	お囃子研究会	講堂	☆	情報コーナー「新着資料展」
		神奈川キノコの会	講堂	☆	
		休館日			
23	月	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
24	火				情報コーナー「新着資料展」
25	水	石仏を調べる会	野外:中原・南原/雨天:講堂		寄贈品コーナー「新着資料展」
		◎星を見る会	科学教室・屋上		
		古文書講読会	講堂		
26	木	◎天文入門講座「太陽系と惑星」	講堂	☆	情報コーナー「新着資料展」
		◎相模川流域ジオツアー入門 第1回	野外:田村	☆	
		お囃子研究会	講堂	☆	
27	金	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
28	土	◎星を見る会	科学教室・屋上		情報コーナー「新着資料展」
		古文書講読会	講堂		
		◎相模川流域ジオツアー入門 第1回	野外:田村	☆	
29	日	お囃子研究会	講堂	☆	寄贈品コーナー「新着資料展」
		神奈川キノコの会	講堂	☆	
		休館日			
30	月	休館日			情報コーナー「新着資料展」
31	火	月末休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」

1	水				情報コーナー「新着資料展」
		古代生活実驗室	科学教室		
		展示解説ボランティアの会	講堂		
2	木	展示解説ボランティアの会	講堂		情報コーナー「新着資料展」
		古文書講読会	講堂		
		聞き書きの会	特別研究室		
3	金	聞き書きの会	特別研究室		情報コーナー「新着資料展」
		◎最新天文学講座	講堂	☆	
		◎相模川の生い立ちを探る会	野外:秦野 雨天時:科学教室	☆	
4	土	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
5	日	休館日			情報コーナー「新着資料展」
6	月	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
7	火	休館日			情報コーナー「新着資料展」
8	水	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
9	木	休館日			情報コーナー「新着資料展」
10	金	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
11	土	休館日			情報コーナー「新着資料展」
12	日	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
13	月	休館日			情報コーナー「新着資料展」
14	火	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
15	水	休館日			情報コーナー「新着資料展」
16	木	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
17	金	休館日			情報コーナー「新着資料展」
18	土	◎星空と音楽の夕べ	プラネタリウム		寄贈品コーナー「新着資料展」
		東国史跡踏査団	講堂/野外	☆	
		地域史研究ゼミ	特別研究室		
19	日	◎ろばたばなし	相模の家・特別研究室		情報コーナー「新着資料展」
		天体観察会 定例会	講堂	☆	
		天体観察会 天文学勉強会	講堂	☆	
20	月	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
21	火				情報コーナー「新着資料展」
22	水				寄贈品コーナー「新着資料展」
23	木	石仏を調べる会	横内(雨天時講堂)		情報コーナー「新着資料展」
		◎星を見る会	科学教室・屋上		
		古文書講読会	講堂		
24	金	◎天文入門講座「太陽系と惑星」	講堂	☆	寄贈品コーナー「新着資料展」
		◎相模川流域ジオツアー入門 第1回	野外:田村	☆	
		お囃子研究会	講堂	☆	
25	土	休館日			情報コーナー「新着資料展」
26	日	休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」
27	月	休館日			情報コーナー「新着資料展」
28	火				寄贈品コーナー「新着資料展」
29	水				情報コーナー「新着資料展」
30	木	月末休館日			寄贈品コーナー「新着資料展」

☆:プラネタリウム投影日 ○:申込制行事 ◎:参加自由 無印:年間会員制

【自由参加の行事】

◎春期特別展「ひらつかの家康伝説 ー由緒と地域ー」展示解説

内容:春期特別展の内容を担当学芸員が解説します。  
場所:博物館1階 特別展示室  
日時:5月7日(土)午後1時~午後1時55分

◎ろばたばなし

内容:民家のいろりばたで昔話を語ります。  
場所:相模の家  
日時:5月15日(日)(1)午後1時20分 (2)午後3時

◎天文学入門講座「太陽系と惑星」第2回「水星・金星と惑星の運行」

内容:毎月1回開催の天文学入門講座。天文学の基本を分かりやすく解説します。今年度のテーマは「太陽系」。太陽系の惑星たちの素顔を紹介しつつ、天文学の基礎事項を解説します。第2回は、水星と金星について紹介するとともに、地球から見た惑星の運行について解説します。  
場所:博物館1階 講堂  
定員:50人(先着順)  
日時:5月21日(土)午後3時30分~午後5時  
開場は午後3時15分

◎星を見る会「最接近直前の火星を見よう」

内容:中接近を迎える火星や木星、春の星たちを観察します。  
場所:博物館1階 科学教室 及び屋上  
日時:5月27日(金)午後7時~午後8時30分  
備考:曇雨天時中止(中止判断は午後5時)

【プラネタリウム】定員:70人 観覧料:200円(18歳未満・65歳以上無料)

○観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。  
○全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退出はできません。

☆プラネタリウム一般向け番組「すだれ越しに見た宇宙」

内容:X線で見えた宇宙の姿を紹介します。  
投影日時:6月5日(日)までの土・日曜日の午前11時・午後2時

☆星空と音楽の夕べ

内容:クラシック音楽を聞きながら星空を鑑賞します。5月は「ジュピター」をテーマにモーツァルトやホルストの楽曲を取り上げます。  
投影日時:5月15日(日)午後4時

5月の休館日:2日、9日、16日、23日、30日、31日

※博物館からのお願い

駐車場が大変混雑しています。極力、公共交通機関でご来館ください。

あなたと博物館 44巻2号 通算473号 発行 平塚市博物館 2200  
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949  
ホームページ http://www.hirahaku.jp/